

特集

2012年5月21日の金環日食調査WGから

飯塚礼子（金環日食調査WG代表）、金環日食調査WG

1. はじめに

2012年5月21日の金環日食は、部分食も含めると、日本各地で観測できた天文現象でした。この日食を天文普及に関わっている様々な団体、学校・自治体等がどのように捉えたのかを記録に残し、2030年、2035年に日本で観測できる日食時の一助になればと考え、金環日食調査ワーキンググループでは調査を行ってきました。

活動開始はこの金環日食の間際の2012年4月初めでした。準備期間もなく、情報収集もあわただしい中、全国で開催される金環日食の講演会・研修会・イベントの情報をアンケートとweb検索から集め、天文教育普及研究会のホームページ[1]に掲載していきました。同時に小中高等学校でどのようにこの金環日食を捉えたかについてと、観測会の実施の有無や児童生徒への注意喚起についてのアンケートも実施しました。このアンケートの途中経過をまとめ、2012年5月11日[2]、2012年5月17日[3]の2回、文部科学省において緊急記者発表会で公表しました。

また、文部科学省から地方自治体に出された通達が行政から各学校へどのように伝えられたのか、行政として安全の確保と教育的取り組みについて、各都道府県へ問い合わせました。この内容は、当会の2012年和歌山大会[4][5]にて途中経過を発表しました。

金環日食後は、一般の方が日食と各天文現象についてどのように捉えたかを調査するために2012年11月からweb上などでアンケートを行いました。

また、途中経過として日本天文学会2012年秋季年会[5]にて報告しました。

2. 各報告の紹介

本特集では、私たちが行ってきた調査が次に伝わっていくように、それぞれの分野に分けてご報告をいたします。

1. 学校に関する調査
2. 地方自治体の日食への動き調査
3. 金環日食後アンケート
4. 金環日食勉強会・観測会について
5. 日食関連商品のまとめ
6. 金環日食観測～京都での取り組み
7. 金環日食気象観測発表会の報告

調査によっては課題も見えてきました。次回の日食観測や天文イベントの参考になると期待しています。

文 献

- [1] 金環日食調査ワーキンググループ
<http://tenkyo.net/kinkan-chosa/>
- [2] 2012年5月11日 緊急記者発表会
<http://tenkyo.net/kinkan-chosa/20120511.pdf>
- [3] 2012年5月17日 緊急記者発表会
<http://tenkyo.net/kinkan-chosa/20120517.pdf>
- [4] 学校調査とイベント集約、第26回天文教育研究会（2012年天文教育普及研究会年会）
- [5] 2012年秋季年会，Y14b，大分2012年10月 全国調査からわかった学校における金環日食に対する取り組みの状況
<http://tenkyo.net/kinkan-chosa/20120918.pdf>

飯塚礼子